

# 令和6年度 地域おこし協力隊活動報告

亘理町地域おこし協力隊  
岩村寛人（いわむら かんと）

# 目次

- 自己紹介
- 令和6年度活動 振り返り

1: 活動の目的

2: 悠里館連絡通路 作品展示

# 自己紹介

- 岩村寛人（いわむら かと）
- 1985年東京出身
- イギリスの大学で建築を専攻し、日本に帰国。設計事務所での勤務を経た後、製図技術の延長として発案した「A\_Maze」という画法を元に壁画家としての活動をスタート。スターバックスやナイキなどの企業案件を多数手がけ、現在は美術作家として建築を出発点とする芸術性や社会性を題材とした創作活動に専念する。
- 2021年コロナ禍の中、災害とアートの関係性に興味をもち、防災をテーマとした町おこしに資するため亘理町地域おこし協力隊に参加。
- かつて町の財産であったもの、町の移り変わりによって忘れられてしまったものを改めて美術の資源として活用しコミュニティに還元することを目標に掲げ創作活動中。



# 令和6年度活動 振り返り

# 活動の目的

## 悠里館連絡通路 作品展示

- ・ 前年度より研究・実践を進めていた鳴り砂アートの成果発表
- ・ 前年度企画した跨線橋改修計画の実施（発表場所の変更）
- ・ 町の震災からの文化的復興
- ・ 亘理町の交流人口拡大に繋げれる事業の確立



# 悠里館連絡通路 作品展示

## 砂を利用したアート成果発表

昨年度より企画していた悠里館2階東西連絡通路において鳴り砂を利用したアート作品の発表を開催。

塩田や潮干狩りなど地域の生活を支えてきた砂の文化的価値に今一度焦点を当て、鳴り砂を始めとした震災後に少しずつ忘れ去られていく町の記憶を少しでも多くの人に呼び戻してもらうことを目標としたアートを13点設置。亘理駅と悠里館という場の特性を利用しできる限り多くの人の目に触れてもらい町の過去、そして未来に思いを馳せていただけることを目指した。





# 悠里館連絡通路 作品展示

TBCテレビでの放送 (6月11日火曜)

岩村寛人さん

「いろいろな方向から見た亶理の景色が、一つの絵の中にたくさん押し込まれているのがいいと思う」



岩村さんの作品は当面の間、亶理町の悠里館の連絡通路に展示されます。

吉田浜海岸の砂浜は海水の自浄作用や清掃活動により一部では再び「鳴き砂」になっているそうです。





# 悠里館連絡通路 作品展示

作品情報パンフレットの無料配布





# 協力隊任期満了後の展望

宮城県雄勝町にてQUIET SANDの壁画製作

10月より牡鹿半島の雄勝町にある「海岸線の美術館」にて大型の壁画製作を予定しています。9月中旬には雄勝道の駅にてQUIET SANDシリーズの展示発表を行い、亘理での活動の周知はもとい、今後も東北の復興という文脈の中でアートと災害の関係性の探求を続けてまいります。

